

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズ はなくらぶ1号		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		～ 2025年 10月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		～ 2025年 10月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長年の運営実績、保護者の生活に沿ったサービス提供時間、障害特性を問わず、幅広い受け入れ5年以上の児童指導員、児童指導員又教員資格者を常勤職員として配置。個々の利用者に沿った支援対応を行っています。	就労されている保護者が多く、サービス提供時間を8:30～17:30としている。長期休みなどのイベントを始め、季節のイベント、法人全体で行う卒業式などがあります。	職員(非常勤職員を含む)の意見交換を行い、新しいプログラムを導入を検討しています。
2	SNS活用し、ホームページにて活動の様子を発信を行っています。	ホームページに活動を発信していますが、日々新しい物を発信出来る様に努力しています。 法人内、情報共有出来る様にタブレット内、共有システムを取り入れています。	職員誰もが、出来る様にSNS活用の向上。 保護者との連絡をSNS活用出来る様に検討しています。
3	建物が綺麗で、活動スペースも広く、子供達の気持ちにゆとりを持っていただいている。 バリアフリー化や用途にあったトイレなど環境上の配慮が適切に行われています。	法人内、すべてバリアフリー化、解りやすい構造になっており、感染予防の為、空気清浄機設置、毎日の消毒は行っています。	支援に必要な物品(バギー・座位保持など)の配置場所などレイアウトを検討しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への見学など希望があれば、可能としていますが、保護者会としては行っていません。	積極的に、保護者会に取り組んでいない。(個別に相談などは受けているため)	保護者の要望を聞き、検討します。
2	障害特性に問わず、受け入れているため、個別支援は計画しているが、活動プログラムは出来ていません。	季節の大きなイベントは決めているが、詳しく決めてホームページにて発信する事も検討しています。	一年スパンで決めてしまうと、マンネリ化するので、一か月スパンで、考える様にはするべきだと思います。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズ はなくらぶ1号
------	-------------

公表日 2025年10月31日

利用児童数 2025年10月31日

20人

回収数 9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	1	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	3	0	2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	3	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1	1	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	2	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	2	4	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	4	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	7	1	1	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	4	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	4	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	5	2		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	5	1	2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	4	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	2	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	2	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	2	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1	1	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	2	0	0	昔から通っているので、子どもも安心して通っていると思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	0	大変満足しています。利用日は子どもも喜んで通っている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	3	0	0	もう少し、医療行為がしてもらえる様になれば、ありがたいです。	出来るだけ、検討したいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズはなくらぶ 1号		公表日		2025年 10月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	支援室は広い為、適切です。中でも、横になられる方の場所も安全を話し合い、確保出来ています。	座位が取れない方が増えて来ると、安全な場所を確保することが難しい場合もあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	5	5年以上の児童指導員、児童指導員、看護師も配置しています。	介護力不足により、研修などが必要	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13		バリアフリー化され、生活の流れに適した作りになっており、子供に解りやすい構造になっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		空間は広く、空気清浄機も設置し、毎日の消毒も行い清潔にはしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	3	障害特性に応じた場所を確保しています。	確保が必要な方が多ければ、足りない場合もあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	3	常勤職員は毎月、会議を行ったり、毎朝朝礼にて報告したりしているが、非常勤職員、運転手までは中々出来ていません。	報告が非常勤職員に周知が出来ていないので、方法を考えていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	3	毎月、常勤の会議を開き、その中で報告を行っています。非常勤職員には回覧で報告しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	4	会議では、意見を述べる時間は設けている。	個々の意見を聞く時間が無いので、今後体制を整えたいと考えます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	6	第三者の設置はしている。	評価し業務改善には繋げていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		常勤会議時に研修を取り組んでいます。研修制度・eラーニングシステムあり。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	4	個人の支援計画書は保護者に共有出来ている。	支援プログラムとしては、公表出来ていません。ホームページなどで公表検討中	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		年2回は保護者と面談し、モニタリングを行い、計画書を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		計画書（案）が出来れば、支援会議を行い問題点などを話し合っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		個別支援計画書に沿って、評価表を書いてもらっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	3	独自の支援ケース記録を使い、確認しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	4	保護者とのモニタリングにて、本児の必要な支援、家族支援を考え、支援内容は検討しています。移行・地域支援・連携は希望があれば取り組む様に検討しています。	地域支援・地域連携が出来ていない部分があります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	9	活動プログラムをチームで行う事が出来ていません。	チームで行えるように改善が必要	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	9	活動プログラムが出来ていません。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	1	個別活動と集団活動を組み合わせ、計画書を作り、計画書に沿って支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	4	毎朝、朝礼を行い昨日の報告、問題点などを共有しています。	勤務時間の兼ね合いで非常勤職員は参加できていません。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	4	支援終了後ではありませんが、翌日の朝に行っています。	終了後は送迎に出してしまうので、中々できません。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	2	毎回、支援内容の記録は残して、利用者にも提示しています。支援の評価なども行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		年2回はモニタリングを行い、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	10	3	出来るだけ、4つの基本活動を組み合わせ、支援を行っています。	複数組み合わせは、出来ているが、指導員がすべてが理解していないようです。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13		出来る方には、自己決定出来る様に二択にしたりとは工夫しているが重度の方が多く、意思を引き出す方の支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1	出来るだけ、子供の状況を理解した人が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	2	学校など連携を持つようになっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13		学校など連携を持つようになっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	2	学校など連携を持つようになっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13		本人・保護者の依頼があれば、情報提供はしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	6	本人・保護者の依頼があれば、情報提供はしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	8	本人・保護者の依頼があれば、情報提供はしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	8	本人・保護者の依頼があれば、情報提供はしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	本人・保護者の依頼があれば、情報提供はしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	8		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	3	初回の契約時に必ず、書面をもって説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	契約時には必ず、意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	1	必ず、計画書の確認をして頂き、サインを頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	2	都度、相談は適切に応じ、対応しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	9	保護者会は要望はありません、出来ていないので検討しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	苦情があれば、職員が聞くと迅速に上長に報告し、適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	ホームページにて、活動報告を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	全ての職員に誓約書を書いてもらい、十分留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	海外の方がいるので、翻訳機などを使ったりしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	8	検討が必要です。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	2	年2回、防災訓練として行っています。	家族への周知の仕方を検討。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	2	年2回、防災訓練として行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	契約時に必ず情報頂いています。発作があったなど報告も、都度頂いています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	4	そのような児童は現在いません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	4	今後はホームページにて搭載検討しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	毎月の会議にて、共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1	虐待研修を法人内で行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0	現状はませんが、以前は必ず保護者相談し、計画書に記載するようにしています。		